

仙台市 農政だより

2020年秋号



【発行】仙台市経済局農林部(農政企画課、農業振興課、農林土木課)



▲水稻の生育状況について説明を受ける郡市長



市長が若林区七郷地区で農業視察を行いました

9月2日(水)、農作物の生育状況を把握するため、郡市長が農業視察を行いました。

若林区七郷地区のほ場では、仙台農業協同組合の藤澤代表理事組合長や農事組合法人仙台中央アグリサービスの堀江代表理事など、関係者から、水稻や転作大豆の生育状況を聞き取りました。

また、認定新規就農者である平松希望(ひらまつのぞみ)さんと、株式会社仙台あぐるの農園の小倉真紀(おぐらまき)さんから、就農に至った経緯や取り組み状況などを聞き取りました。



▲認定新規就農者のお二人と



▲体験型観光果樹園にて

その後、防災集団移転跡地利活用事業となる体験型観光果樹園と、せんだい農業園芸センターみどりの杜を訪れ、仙台市では希少な果物等の生産状況を確認しました。

郡市長は、「東日本大震災の被害を受けた東部沿岸地域で、皆様のご尽力のもと、復興に向けて取り組んでこられたことに感謝したい。乾田直播栽培や新規就農など様々な形でチャレンジされている姿を見て、とても心強く感じた。」と話しました。

【農政企画課企画調整係(電話:214-8265)】

農業委員及び農地利用最適化推進委員の次期委員を募集します

令和3年7月に農業委員及び農地利用最適化推進委員の任期が満了することに伴い、それぞれ次期委員の募集を行います。

募集期間、推薦及び応募方法等につきましては、各募集要項をご覧ください。募集要項は令和2年12月上旬頃から農政企画課（青葉区国分町3-6-1 仙台パークビル9階）、農業委員会事務局事務課（青葉区二日町6-1 2MSビル二日町6階）及び各区役所・各総合支所窓口にて配布するほか、市ホームページにも掲載する予定です。

	農業委員	農地利用最適化推進委員
主な職務内容	毎月開催される総会において、農地の権利移動の許可等について審議、決定等を行う。 また、農地利用最適化推進委員と連携し、遊休農地の発生防止・解消のための農地パトロール等の現場活動を行う。	担当区域において、農業委員と連携して、遊休農地の発生防止・解消のための農地パトロールや担い手への農地集積を推進するための農地の貸し手・借り手の掘り起こしなど、主に地域に密着した現場活動を行う。
任期	令和3年7月15日～令和6年7月14日	令和3年7月(委嘱日)～令和6年7月14日
報酬(月額)	63,000円 (会長78,000円、会長代理71,000円)	40,000円
定数	19人	34人(区域毎に定数有り)

農地利用最適化推進委員の区域毎の定数(計34人)					
宮城	4	原町	1	岩切	2
高砂	3	七郷	4	西多賀	1
六郷	5	長町	1	中田	2
秋保	2	泉	3	根白石	5
				生田	1



【農政企画課企画調整係(電話:214-8265)】
【農業委員会事務局 事務課振興係(電話:214-4308)】

仙台市の農林水産物を活用した6次産業化を支援します

市内産の農林水産物を活用した6次産業化や、農商工連携の取り組みを支援します。

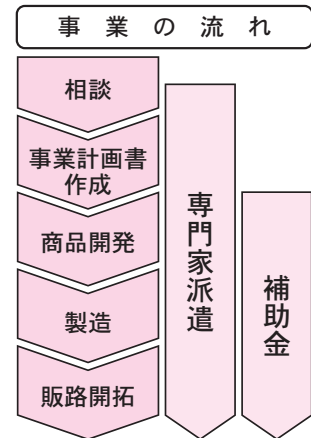
- 対象者(いずれも市税を滞納していない方に限ります)
 - ・認定農業者
 - ・林業者
 - ・漁業者
 - ・農業協同組合
 - ・森林組合
 - ・漁業協同組合
 - ・市内の農林漁業者と連携して事業に取り組む商工業者
 - ・その他市長が特に必要と認めた者

- 専門家派遣

6次産業化や農商工連携に必要な技術指導やデザイン開発、販路開拓などの助言・指導を受けることができます。

- 補助金

原則として、2名以上の異なる専門家派遣を受け、所定の事業計画書を作成した後に、補助金を必要に応じて受けることができます。詳しくは下記までお問い合わせください。



メニュー	補助対象経費	補助率	補助上限額
マーケティング	販売戦略のための市場調査や広報活動に係る経費	1/2以内	10万円
機材導入	6次産業化等に必要の機械や設備の導入に係る経費	1/2以内	120万円
商品ブランドデザイン開発	パッケージやロゴデザインの開発、WEBサイトの構築等に係る経費	1/2以内	15万円
試作	試作した商品の評価や使用する原材料調達に係る経費	1/2以内	20万円
販路開拓	展示会への出展に係る経費	1/2以内	20万円

【農政企画課農食ビジネス推進室(電話:214-8266)】

せんだい農業園芸センターみどりの杜で果樹園の見学ができます

せんだい農業園芸センターみどりの杜の観光果樹園では、県内でも珍しい最新の栽培方法である「ジョイント栽培」などを取り入れ、ブドウ、ナシ、イチジク、リンゴの栽培を行っています。

現在は、収穫期を迎えたリンゴの栽培の様子や取り組みを紹介しています。見学をご希望の場合は、事前にご連絡の上、お越しください(有料)。

また、多くの皆様に摘み取りの楽しさと季節の味を楽しんでいただけるように、果物狩りも開催しています(有料・予約優先)。

詳しくは、下記までお問い合わせください。



ジョイント栽培とは・・・

果樹の樹体仕立て方法を単純化し、複数樹の主枝部を連続的に接ぎ木で連結し、直線状の集合樹として仕立てる方法です。果樹栽培管理の省力化、超低コスト栽培が可能となり、早期成園化を実現しています。

【仙台ターミナルビル(株) 荒井事業所(電話:762-9688)】

GAP (農業生産工程管理) セミナーを開催します

今回は、S&Sサーティフィケーション(株) 代表取締役 内田修一様より、ご講演をいただきます。参加費は無料ですので、ぜひご来場ください。

○日時

令和2年12月18日(金)
午後2時から午後3時30分まで
(午後1時30分から受付開始)

○会場

せんだい農業園芸センター 研修室
仙台市若林区荒井字切新田13-1
※無料駐車場がご利用いただけます。
※公共交通機関もご利用ください。
(地下鉄東西線荒井駅よりバス10分)

○対象者

- ・ 農業者
- ・ 生産組織の代表者・構成員 等

○内容

「農業生産現場におけるリスク管理」

○定員

50名
※新型コロナウイルス感染症対策の為、
人数の調整を行う場合があります。

○申込締め切り日 12月11日(金)

○申込先

名前・住所・電話番号・参加希望人数を
ご記入の上、下記までお申し込みください。
※任意の様式で構いません。

仙台市経済局農林部農業振興課 宛
FAX: 214-8338
E-mail: Kei008130@city.sendai.jp

【農業振興課生産振興係(電話:214-8335)】

「せんだい次世代農業経営者育成ゼミ」を開講しています



市では、8月より、(公財)翠生農学振興会・東北大学農学研究科に委託し、次世代の本市農業を担うプロの農業経営者の育成を目的に、「せんだい次世代農業経営者育成ゼミ」を開講しています。農業法人で勤務されている方や新規就農者など、意欲あふれる7名の塾生を迎え、8月中旬に開講式を行い、同月に実践的な財務管理を学べる経営シミュレーション研修等を実施しました。塾生からは、「将来、法人経営の後継者となるために必要な知識を習得したい」「どのような事業展開が自分や地域のためになるのか勉強したい」など、参加への意気込みやゼミへの期待が寄せられました。2月の修了式まで、東北大学青葉山新キャンパスを拠点に、全13回の講座や視察研修等を通じて、プロの農業経営者として必要になる経営管理に関する知識・スキルの習得、人脈の構築を目指します。

【農業振興課担い手育成係(電話:214-7327)】

【発行】仙台市経済局農林部(農政企画課、農業振興課、農林土木課)

〒980-0803 青葉区国分町3丁目6番1号 表小路仮庁舎(仙台パークビル9階)

電話 022-214-8265 FAX 022-214-8338 (農政企画課)

◆Eメール kei008110@city.sendai.jp (農政企画課)

◆HP <https://www.city.sendai.jp/kurashi/shizen/norinsuisan/index.html>



仙台市農林水産業
ホームページ